



凡 玉

ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 高松キャビネット事務局

We Serve

1.2.3 No.3

2022年 第117号
令和4年5月1日発行



2021～2022 年度
336-A地区ガバナー

蔵本 守雄

ガバナースローガン
**命燃やして恋せよ
ライオンズに**

ガバナーキーワード
Overcome



2021～2022 年度
ライオンズクラブ国際協会会長

ダグラス X. アレキサンダー

国際会長スローガン

We Serve
(我々は奉仕する)

国際会長メッセージ

Service from the Heart
(心からの奉仕)



INDEX

表紙 2 国際会長・336-A地区ガバナー スローガン

アクティビティ

- | | | | |
|----|---|----|---|
| 1 | こども食堂支援 | 20 | ありがとう年賀はがき贈呈／ライオンズデー清掃活動 |
| 2 | クラブ会報誌を使った広報活動への取り組み | 21 | 第19回「松山中央ライオンズカップ中学生 女子ソフトボール大会」開催／松山盲学校へフロアバレーボールフルセット寄贈 |
| 3 | クラブ活動について | 22 | 活動報告／ひまわりの集い |
| 4 | 松山白鷺LC 30周年記念事業 かけっこ教室スペシャル | 23 | 子ども達に郷土の偉人を紹介 |
| 6 | 新居浜市中学生英語スピーチコンテスト | 24 | 336-A地区ガバナー地域事業 河川敷、海岸線、ビーチの砂浜清掃／コロナ禍のもとで |
| 7 | 地域へ会報折込みで活動のバックアップ
今年も園児たち500余名とプレゼント交換会 | 25 | 健全な青少年の育成をめざして |
| 8 | 第18回 魚の絵コンテスト | 26 | 献血キャンペーン／はがきメッセージ／県民総ぐるみ運動 |
| 9 | プラスチックごみ除去活動／
2021年献血奉仕(ブラッド(血)フライデー) | 27 | ライオンズデー新川橋清掃／クラブのレガシーを次世代に繋げる奉仕を |
| 10 | 使用済みのペットボトルキャップで世界の子どもに
ポリオワクチンを届けよう! | 28 | 小豆島両クラブ合同海岸清掃実施／
プラごみ撲滅キャンペーン砂浜清掃／
2Z合同庵治半島海岸清掃／庵治海岸清掃／
庵治半島グリーンアップ活動／2Z合同海岸清掃 |
| 11 | 子どもたちに夢を(あわてんぼうのサンタクロース編) | 29 | 河川・公園等清掃活動／白方海岸清掃／海岸清掃について |
| 12 | 障害をかかえる子供たちのアート展示会 | 30 | 4Z 合同清掃／庵治鎌野海ゴミ清掃とサンポート周辺4Z合同清掃／
清掃奉仕活動 |
| 13 | 高松紫雲ライオンズクラブ チャリティークリスマスマルシェ2021 | 31 | 思い出のランドセルギフト |
| 14 | 第1回 高松栗林ライオンズクラブ ジュニアピアノコンテスト2021 | 32 | 10月17日桂浜花海道、砂浜清掃活動／砂浜清掃 |
| 15 | 園児と共にさつま芋つくり | | |
| 16 | 環境保全事業海岸清掃実施／
例会活動について 12月訪問例会 | | |
| 17 | 第47回 みどり寮もちつき奉仕 | | |
| 18 | 第17回 一語り伝えたいー 美しい日本語暗唱コンテスト | | |
| 19 | 献血活動のご報告／清掃アクティビティ報告 | | |
| | | 33 | 物故会員 |

情報

こども食堂支援

松山東ライオンズクラブ

クラブ理事、PR委員長 清水 健太郎

松山東ライオンズクラブは、今年度新規アクティビティとして「こども食堂支援」を行いました。「こども食堂」と

は経済的理由や家庭の事情によって、栄養ある食事をとることができない子供たちに、無料または安価で栄養のある食事や温かな団欒を提供するため

の日本の社会活動です。孤食の解決、子供と大人たちの繋がりや地域のコミュニティの連携の有効な手段として、

日本各地で同様の運動が急増しています。

このアクティビティを行うきっかけは、村上市会長自ら何度か現場に支援に訪れ、その都度、物資不足を感じ、当ライオンズクラブで何とか支援できないかという投げかけから始まりました。

支援先は当クラブの卓話にも参加頂いた山瀬麻里さんが主催されている松山さかのうえ日本語学校の国際子ども食堂です。ここは留学生さんた

ちがボランティアをしており、各国の料理を提供されています。

活動の内容としては、担当委員会（教育委員会）が定期的に訪問し、必要な物資をヒアリング。食料品、弁当箱などの備品、及びオーブンレンジ、ノートPCなどの家電品を準備し提供していきます。

2021年12月8日に物品の準備が整ったので、村上市会長以下、ライオンズメンバーでこども食堂を訪問し簡単な贈呈式を行いました。現場は山瀬代表ほかスタッフの方々と子ども達和気あいあいと楽しく、温かい雰囲気で行われており、贈呈した物品についても「大変助かります！」と喜んで頂きました。

前述しましたが、このような「こども食堂支援活動」は全国的にも広がってきており、松山市内でも増えてきているとのことです。私たち松山東ライオンズクラブでは今後も未来ある子ども

達のために支援活動を続けていきたいと役員で話しております。今後はより一層支援として何をすべきか考えていきたいと思えます。



クラブ会報誌を使った広報活動への取り組み

坂出白峰ライオンズクラブ

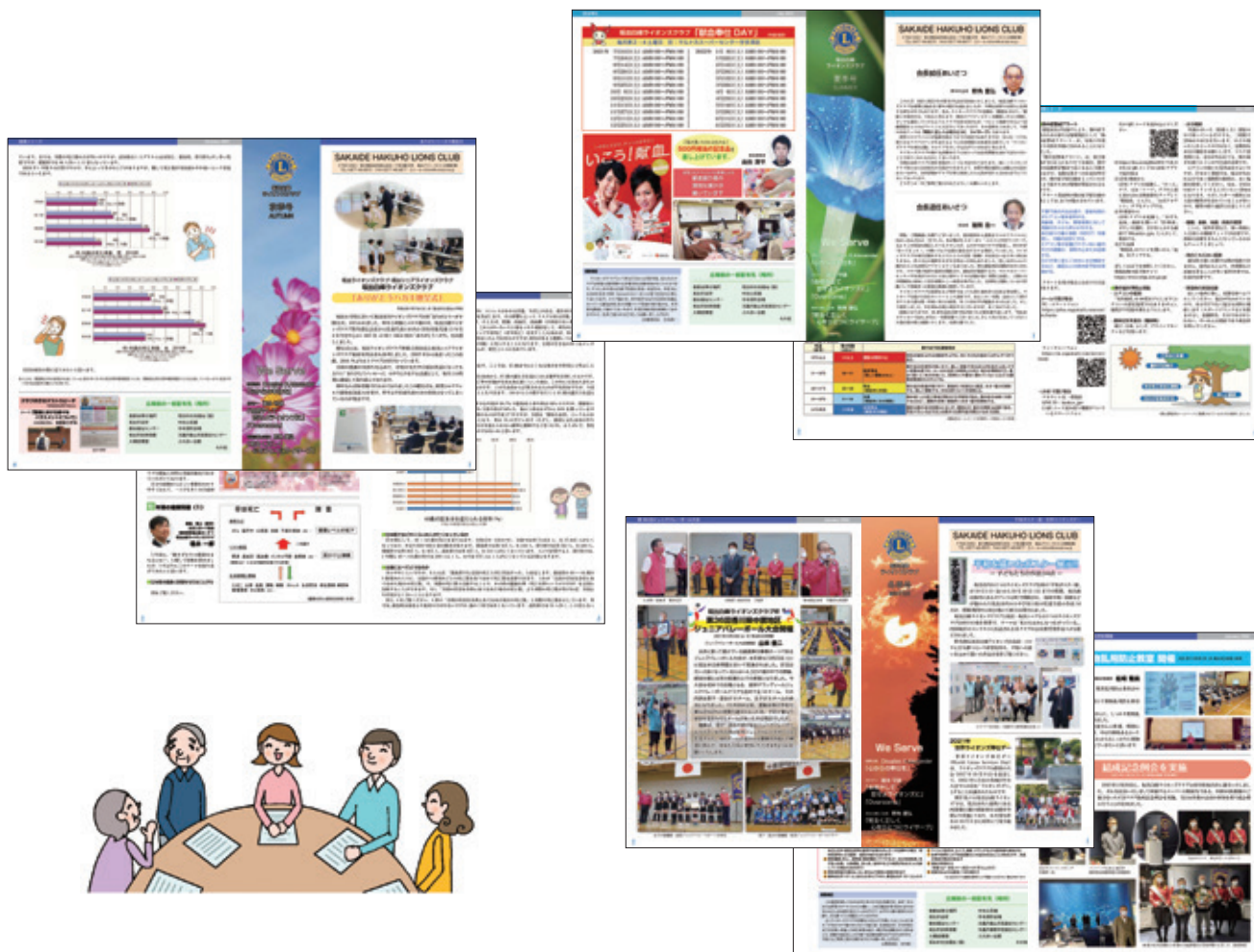
MC・ライオンズ情報・

大会参加・広報・会報誌委員長 **宮本 俊一**

我々のクラブの誇れる奉仕活動の一つとして、現在は第二・第四土曜日の月二回の実施となっている献血奉仕活動があります。ほぼ毎回80名ほど(月間にして約160人)のご協力を戴いているわけですが、クラブからのささやかなお礼としてお渡しする記念品の袋の中に、毎回A3二つ折りのクラブ広報誌を入れさせて頂いています。掲載内容の文章は広く一般の方に読んで頂きたい、文中では極力ライオンズ用語は使わないようにして、「我々ライオンズクラブは皆様の直ぐ近くで日々こんな奉仕活動をやっているんですよ」と、分かり易くライオンズクラブの活動の数々を紹介しております。ある時何気なく献血車の中を覗くと、献血の最中に目を通していらっしゃる方も沢山おられ、広報活動の一つのツールとして役に立っているように思われます。

ちなみに現在は年4回の季刊誌として発行しており、発行部数は毎月1,100部で、配布場所としては前述の献血会場のほか坂出市役所を始めとした各所市内公共施設、また近隣の市町在住の会員の協力も得てそちらの方の施設等にも置かせて頂いております。

文末になりますが、ほとんどのクラブが毎号苦慮して取り組んで発行しておられるクラブ広報・会報誌、もつと有効に且つ広く配布することにより「ライオンズクラブの活動を、広く一般の方々に知っていただくことに力を入れたい!」という事へと繋がっていくでしょうし、また各クラブがそれぞれの地域において永年取り組んでおられる奉仕活動へのご理解・ご協力も更に増すものと思えます。



クラブ活動について

内子ライオンズクラブ

会長 **石田 靖也**

内子ライオンズクラブの石田でございます。2021年の始まりは緊急事態宣言の中でのライオンズ活動になりました。一番心に残ったのは6月5日に行われた次期クラブ三役オリエンテーションがウエブ会議で行われた事でした。あわててノートパソコンを買いに走った事を思い出します。
クラブの定期的な活動として

①桜並木の草刈り

9月11日参加会員16名

②献血事業への協力

10月7日協力会員3名、
11月23日協力会員5名

③ぶどう狩り交流例会 残念ながら

コロナで中止になりましたが、町内の
特老施設「神南荘」と「緑風荘」へぶ
どう各3箱を贈りました。

④英語弁論大会 9月22日に内子町

教育委員会と国際交流協会主催
の内子中学校4校11名の選手の英
語弁論大会がウエブ会議で行われ、
助成金をお贈りし、当日は来賓と

して参加、発表者へ激励の挨拶をしま
した。

1位に輝いたのはタイトルが「私の挑
戦」で、日本最古の喜劇の狂言を愛し
自ら演技をしており、狂言も内子の文
化も未来に引き継いで行きたいと思っ
た女子生徒でした。因みにその生徒は海
外派遣事業の派遣団員になれる権利
を得ることができました。

⑤会員拡大

昨年11月に新会員候補者22名の名
簿を作成しアタック担当を決めて声
掛けし、結果会員1名が入会いただき
ました。また現役会員と休会届けを出
されている会員のご子息に声掛けして
家族会員6名が入会いただきました。

⑥海・川の清掃

世界ライオンズ奉仕デーに併せて
10月8日に小田川沿い河川敷の清掃
活動を行いました。

最後になりましたが、このコロナ禍が
少しでも早く終息することを心から
願っています。



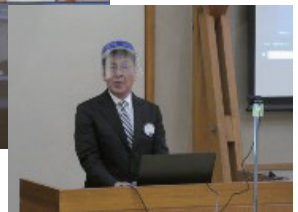
10.8 桜並木除草中



除草2週間後
“きれいでしょう”



9.22
令和3年度内子町
中学校英語弁論大会



10.7、11.23
献血事業協力



10.8
河川の清掃 (小田川沿い)
の清掃中



10.8
内子班での作業終了
(多くのゴミを分別して...)

松山白鷺LC 30周年記念事業

かけっこ教室スペシャル

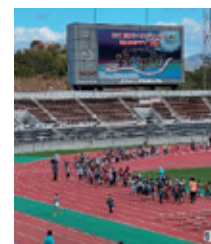
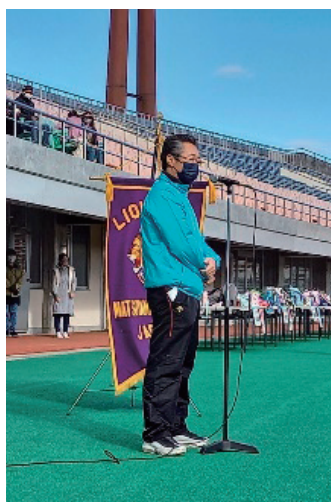
青少年育成・国際関係委員会 委員長 **鹿村 勝之**

松山白鷺ライオンズクラブでは「子どもの未来はまちの未来」を、結成15周年を迎える2006年から青少年育成ビジョンとして掲げ、健全な青少年育成と地域社会に密着した事業としてさまざまな青少年育成事業を行ってまいりました。走るという基礎的な運動を通じ、体を動かすことで心も健康になってもらいたい思いから、2016年からは小学1年～3年生を対象とした「かけっこ教室」を毎年11月に開催しております。昨年2020年は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、5回目となる2021年は感染症対策を実施しつつ無事開催することが出来ました。

今回は、当クラブの結成30周年記念スペシャルとして開催し、ゲストアスリートも招聘。募集人数150人に対し、約950人もの応募がありました。実際のニンジニアスタジアム陸上競技場で走り、競



技場内の大型電光掲示板にタイムが掲示されるなど、さながら国体選手になった気分も味わえ、貴重な経験になったことでしょう。今後も「かけっこ教室」は継続事業として開催し、健全な青少年育成に貢献してまいりたいと思います。開催にあたり、ご尽力いただきました関係各位に心よりお礼申し上げます。





新居浜市中学生英語スピーチコンテスト

新居浜ライオンズクラブ

青少年委員会 理事 福山 宏

新居浜ライオンズクラブの自慢のアクティビティの一つである「新居浜市中学生英語スピーチコンテスト」は本年度で32回目の開催を迎えました。

1990年国際交流・国際親善を求められている時代に市内中学生の英語力向上の為、新居浜市教育委員会との共同開催で第一回中学生英語スピーチコンテストを実施したのが始まりとなります。毎年、市内11～12校の参加があり、11～12名の中学生が夏休み等の間に自由なテーマでスピーチを作り上げ、一生懸命練習し、コンテストのある9月頃には立派な弁士となり、5分間の英語スピーチをするのです。

審査に関しては学校の先生方で行い、感情表現や声の大きさ、発音等を細かく審査します。私の様な英語の素人は和訳を読みながら、良い事言ってるな、とか苦労してるな、と思いがながら会場で傍聴しておりますが、かなり仕上げてきており、それだけで感動

します。

そして順位をつけるべきでは無いかも知れませんが、コンテストとうたっておられますので上位3名を入賞という形で表彰しております。

これまで、この英語スピーチコンテストの卒業生で社会人として成功されている方を先輩として、ゲストに迎えてお話をいただく機会も作ったりと、生徒達が勉強する事や努力する事は大事なんだと思ってもらう良い場になっていると思います。

生徒や先生も大変だと思いますが、案外大変なのがその年の新居浜ライオンズクラブの会長です。会長の挨拶を英語でするべきか聞き直して日本語でするべきか悩みます。

私も数年前に会長を務めた時に、英語で挨拶しようと、文章を作り、英文が合っているのか否かを当時、高校生だった子供たちにチェックさせて、英文科卒業の嫁さんに指摘を受けなが

ら短い英文を作りました。当然、私の下手な英語スピーチは伝わって無いなと感じ、途中から日本語で挨拶をし直した記憶があります。冷や汗ものでした。

これからの新居浜ライオンズクラブの大事なアクティビティとして未来永劫「新居浜市中学生英語スピーチコンテスト」が続く事を祈念しております。

第32回 新居浜市中学生英語スピーチコンテスト

主催 新居浜ライオンズクラブ・新居浜市教育委員会



地域へ会報折込みで活動のバックアップ 今年も園児たち500余名とプレゼント交換会

1R・1Z 砥部ライオンズクラブ

MC委員 **宗像 陽明**

23年前から町内へ会報折込みで活動一つひとつの「思い」を発信。主旨、意義、目的などをできるだけ簡潔にチラシ風に観て解る会報で協力を呼びかけ、次号ではその成果を報告。クラブ結成時からの「地域と共に…」の活動理念を具体的に実践し、続けている。

今回はアクティビティの一つ「31回目のあわてんぼうのサンタクロース」毎年12月1日に実施の看板事業を紹介。主導は青少年委員会、MCがまず会報の折込みで町内全域へ協力をお願いする。町内7カ所の幼稚園・保育所の子供たちがライオンズサンタと「プレゼント交換会」の使用済切手類の収集に協力をお願いする。近所の子供さんに少しでも届けて下さいのバックアップをする。この事業の最大の目的は幼児期に何かいいことした、うれしい体験、初めてのボランティア体験のプレゼントにある。この日、幼稚園にボランティアの芽生えをプレゼントできること

を願って地域の応援を求めている。さらにこの一つの事業に二重三重の付加価値を求め、収集切手の切揃え作業を障害者の社会参加作業施設に仕事として発注、毎年3万〜5万枚の切手揃えに協力を得ている。1月下旬に町内企業や会員収集分と合わせ東京青梅市の「盲人老人ホーム聖明園」に贈っている。このことは子供たちも十分理解した上でのこと、当日サンタさんへプレゼントの際は大きな声で「目の見えない人のために使ってください！」の言づけがあり、ライオンズサンタも「ありがとうございます」…また来年も来るのでよろしくお願いします…にハイ！と自信满满、胸を張るたのもしい様子に励まされる一日となっている。

なお各園ごとのコロナ対策は人数に合わせて工夫をこらしての楽しい思い出づくりができ、協力いただいたすべての皆様に感謝。



第18回 魚の絵コンテスト

「魚とみかんの町八幡浜」子ども達の郷土愛を育もう！

八幡浜みなとライオンズクラブ

幹事 高橋 英行

八幡浜みなとLCは1983年に結成され39年目を迎えました。今期は上田竹則会長スローガン「思いやり心ひとつでウイサーブ！」の下、会員41名、平均67歳、委員会を始め趣味の会も充実しており、例会の純出席率は堂々の年間平均87%で推移。今回は代表的な事業である「魚の絵コンテスト」を紹介致します。

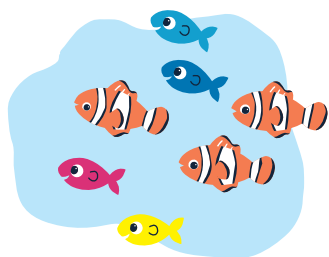
12月11日(土)～19日(日)、新築の八幡浜市美術館にて、当クラブ主催の「第18回魚の絵コンテスト展示会」が開催されました。八幡浜市は、日本一の「日の丸」「真穴」「川上」などの温州みかん産地で有名であると同時に、四国一の規模をほこる魚市場があり、八幡浜港は天然の良港として四季折々の魚種が水揚げされ、早朝の市場は活気に満ち溢れています。しかし近年の魚食離れを始め、不景気や漁業の担い手不足、そして昨今のコロナ禍な

ど、かつての賑わいが失われています。そこで当クラブは八幡浜港の賑わいを取り戻そうと、18年前に市内の小中学生を対象として「魚の絵コンテスト」を企画運営し、今年は感染症対策を徹底し無事に開催されました。

昨年の新型コロナウィルスによる夏休み短縮の影響を引きずり、今年も応募数減を覚悟しましたが、全小学生の約7割に当たる875点が出品され嬉しい誤算となりました。10月の審査会では、教育・YCE・保健奉仕委員会を中心に多くのメンバーが全作品を学年別に手際よく床に並べ、審査員の美術の先生が厳格に審査し、各学年から八幡浜魚仲間人組合長賞1名、最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作5名を選出した後、全作品からポスターにもなる八幡浜市長賞1名と、八幡浜市魚食普及推進協議会長賞1名を厳選。その後、展示用ケースへの差し込み

と名札付け作業を1作品ずつ行い、展示会前日には会場設計図を基に全作品を大漁旗とともに丁寧に展示しました。12月19日(日)の表彰式では、上田会長と来賓の市長挨拶の後、市長賞と魚食普及推進協議会長賞が表彰され、続いて各学年の優秀作品を表彰して記念撮影、最後は審査員による講評と市教育長の閉会挨拶。一連の展示準備から全作品の撤去作業まで、多くのメンバーが積極的に奉仕し気持ちの良い汗をかくことができました。その後も優秀作品は移動展として、フジラン北浜店と八幡浜みなとにて、多くの市民にご鑑賞頂いています。

コロナ禍で宴会等が自粛され、大変厳しい魚食業界の不景気の中、水産業関係者へ向けた応援にも繋がり、改めて港町の八幡浜市に相応しいコンテストだと実感しており、来年当クラブは結成40周年を迎えますが、引き続き代表的な事業として展開して参ります。



審査会



展示会

プラスチックごみ除去活動

石井ライオンズクラブ

会長 齋藤 徹

7月15日及び9月9日に飯尾河川敷(石井町石井ドーム横)の清掃活動を行いました。

この事業は毎年県を通じアドプト事業(リバー)として、毎年3回当クラブで行っている事業です。

今年は、コロナ禍ではありましたが、ガバナール方針でもある「河川敷、海岸線、ビーチの砂浜清掃活動」を地区奉仕活動とすると、いうこともあり、特に、プラスチックの清掃のゴミをメインとし、実施しました。

2回とも夏であり、護岸には花火のゴミが多くその辺りにはペットボトルが数多く散乱しておりました。

今回は、町民に広報誌で参加募集をしたのですが、名乗り出てくれた方はいませんでした。しかしながら、2人程ペットボトルを塵袋に入れた方が周りにいましたので多分清掃活動に協力頂けたのかなと思います。(ゴミだけに捨てる神あれば拾う神あり…:反対か?)最終の1回は4月の予定です。



2021年献血奉仕(ブラッド(血)フライデー)

石井ライオンズクラブ

会長 齋藤 徹

11月21日フジグラン石井駐車場で献血奉仕活動を行いました。

当日は、血液が不足しているA型27人、B型12人、O型18人、A B型6人を目標とし、奉仕活動を行いました。

この日は、他店のブラックフライデー真つ只中ということもあり、またコロナ感染者は減少傾向ではありますが、客足は少なく献血にも出足が少なかつたのですが、58人の方が協力を申し出てくれ、内52名の方から献血を頂きました。

人数的には少し足りませんでした。が、世間の風はまだまだ暖かいと感じたところであります。



使用済みのペットボトルキャップで 世界の子どもにポリオワクチンを届けよう！

八幡浜ライオンズクラブ

青少年・YCE委員長 後藤 庸介

「地球に愛を子供に愛を」ペットボトルのキャップを集めて世界の子供たちにワクチンを届けよう！

日常生活のなかで、ペットボトルのキャップを一般のゴミと混ぜて焼却処分を行うとキャップ400個で3,150gのCO₂が発生し、また埋め立て処分されると土壌を汚染し私達が住む地球環境を破壊する事に繋がります。

地球温暖化の進行が心配されているなかで、使用済みのキャップを回収し再資源化を促進することで、CO₂の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却金で世界の子供たちにワクチンを届け救うことが出来ます。

回収されたキャップは、工場に運ばれ、洗浄した後、機械で粉碎されまます。小さく砕かれたキャップを高熱で溶かし、加工しやすいペレットと呼ばれる素材となります。このペレットが、プラ

なプラスチック製品へと生まれ変わります。昨今、世界中に浸透しておりますSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みにもなります。

八幡浜ライオンズクラブでは、エコキャップの回収運動を、平成22年4月より実施しています。『ペットボトルのキャップを集めるあなたの行動が世界の子供と地球の未来を創る』というキャップフレーズで、小中学校・公民館・一般企業等から協力をお願いし、定期的に会員が回収、計量をして、リサイクル業者（松山容器株）に搬入し、「NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ寄付されています。

平成22年から現在までに回収したキャップの累計は、97,293,000個、ポリオワクチンにして12,400人分の実績を上げています。

身近なことから世界の子供たちの命を救うことにつながる、極めて社会

的意義の高い取り組みであり、今後は、もっと市民レベルでチャレンジしていくべきだと思います。

この活動を通して、地域の活性化にも貢献できたかと考えておりますので、今後の活動もより積極的に取り組んでいきたいと思っております。



子どもたちに夢を

(あわてんぼうのサンタクロース編)

4R-3Z東かがわライオンズクラブ 幹事 山本 勝博

12月初旬、本クラブでは、この時期になるとメンバーが真っ赤なサンタクロースの衣装を身にまとい、自慢の白髭を

蓄え、市内7施設の幼稚園や子ども園に通う約80名の園児たちに、トナカイならぬホワイトカーで、一足早く、

「クリスマスプレゼントと夢」を届けています。

この事業は、本クラブの「三大事業」の一つとして、今年で11回目(11年)を迎えました。今年も12月2日を皮切りに11人のメンバーが子どもたちへ「プレゼントと夢」を運びました。

サンタを見た園児たちの反応は、「上を下へ」の大騒ぎ。サンタに近づいて大喜びの男の子、怖い怖いと泣き出す女の子、その悲喜こもごもの様子が可愛らしく、師走の忙しさをしばし忘れさせてくれる一日となりました。

しかしながら、この2年間は、コロナ禍による対策を余儀なくされ、昨年「プレゼントを全ての施設に箱入りで

お届けすることとなり、子どもたちとのふれあいができませんでした。

でも、今年も各施設から「是非、一人一人の園児に手渡ししてほしい」との要請を受け、手渡し希望の施設と協力し、白髭の下には白いマスクを、手渡しの手には手袋をつける等、万全なコロナ対策を取ることで、子どもたち一人一人とのふれあいが実現できました。

「嬉しい、ありがとう!」「サンタさんありがとう」の可愛いお礼の言葉が園内のあちこちから聞こえ、訪問したメンバーたちの目にも嬉し涙が浮かんでいました。

また、残念ながら一人一人の手渡しができなかった施設については、代表者の子どもに手渡しをしました。

手渡しを終えて園を後にする時には、「いそいでりんりん、いそいでりんりん」と年長の子どもたち全員が「あわてんぼうのサンタクロース」の歌

を歌い、楽しく送り出してくれました。

園長先生方からは、「市内の幼稚園や子ども園に通うほぼ70%の子どもたちが、サンタクロースの存在を信じている」というアンケート結果を伺いました。

それで、本クラブとしては、今後も子どもたちの「夢」を壊さないよう地域の人たちと連携し、この事業を継続していく所存です。



障害をかかえる子供たちのアート展示会

松山城山ライオンズクラブ

MC委員長 池下 幸之介

2021年12月19日(日)、「第8回サンタチャレンジ」を開催いたしました。

可能性を広げる力になれるよう、事業を続けてまいります。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりましたが、今年度は、従来のパレードではなく、「障害をかかえる子供たちのアート展示会」として企画を実施いたしました。愛媛県立しげのぶ特別支援学校の児童、生徒の作品を展示し、約400名の一般の方に作品をご覧いただきました。会員は、サンタクロースに変装し、展示ブースへの案内のほか、記念撮影ブースでの撮影など、イベントを盛上げました。みきやんとこみきちゃんもイベントの応援に参加してくれました。動物や車の絵、風景の絵やモノUMENTなど、全85点の作品は、どれも見る人の心に響く、素晴らしい作品でした。障害をかかえながらも、チャレンジする子どもたちのことを多くの方に知っていただき、応援をさせていただくことで、子どもたちの



高松紫雲ライオンズクラブ

チャリティークリスマスマルシェ2021

高松紫雲ライオンズクラブ

MC・LC情報会報委員会 委員長 亀割 正三

少し暖かを感じる12月17日(金)、人の流れが幾分戻り、街にはクリスマスの音楽が流れ、ドーム周辺はイルミネーションが灯り華やかな雰囲気です。

躍進する再開発事業・常に成長と改革を続ける街として全国から注目を浴びる丸亀町。その起点に兵庫町・片原町の交わる三町ドームがあり、週末には多彩なイベントが繰り広げられています。

その三町ドームにて「昨年」チャリティークリスマスマルシェ2019開催、当クラブの冬の風物誌として継続アクトとする予定でした。「同マルシェ2020」は残念ながら開催中止となりましたが、今年「同マルシェ2021」として、「昨年よりもパワーアップ」しての開催の機を得ることが出来ました。

期待のマルシェは11:00北谷会長の開会あいさつに続き、円陣ワゴン店開きです。

司会はRNCカジアルキで注目される芸人梶つよし、軽妙な口調でアトラクションが紹介されます。

マルシェ出店構成は、紫雲LC会員の関わりあるアイテム、豆腐・マカロン・贈答うどん・酒かす、そして、クリスマス気分満載のクリスマスリース・ポインセチアがそれぞれワゴンに並び、彩りあざやかに雰囲気を盛り上げます。

又、何よりも大事な食事処では、肢体不自由児父母の会出品のおにぎり・焼き菓子・淹れたてコーヒーが目と香りで楽しませます。

さらにカンボジアシエフ特製の東南アジア料理、特にグリーンカレーの香りが冬空の元、体の芯を温めていました。

中央ステージは我がクラブ、L宮内夫妻「コスモス」によるコンサート、澄み渡る歌声が商店街に響きます。

続いて、オカリナ・二胡演奏・フルート演奏とライブでクリスマス気分を盛り

上げました。

当クラブの代表的アクティビティ紹介の8枚のパネルと献血PRコーナーの設置も、街行く人たちに私たちの活動を見て頂く、格好の場面だったと喜んでいきます。

手作りグッズ販売の「なかまの里」の方々とも久しぶりに親交の場を持つことが出来ました。

来年は、12月11日(日)を予定しています。商店街散策に合わせ、お立ち寄り頂ければ幸いです。尚、今回の収益の利益金は寄付金として使わせていただきました。ご協力いただいた方々に、クラブ員一同心より御礼申し上げます。



第1回 高松栗林ライオンズクラブ

ジュニアピアノコンテスト2021

2021-2022 高松栗林ライオンズクラブ

会長 横井 靖司

コロナ禍で、プロアマ問わず音表現する機会が失われ、さらに音楽を愛し楽しむ人たちも良質なパフォーマンスを樂しむ機会が失われている昨今、市民が行き交う高松の中心商店街丸亀町で、青少年を中心として、2021年10月9日(土)・10日(日)、「第1回高松栗林ライオンズクラブジュニアピアノコンテスト2021」、17日(日)には表彰式を開催しました。

グッドプレイヤーをクラブをあげて讃え、音楽を志し人生のよき伴侶としようとする若い世代に大きな夢を持ってもらうことが目的です。しかも感染防止の観点からソーシャルディスタンスを配慮し、屋外でネットワークカメラで撮影録音したメディアを審査員が審査するという非接触型のアクティビティです。音楽は決して劇場で蝶ネクタイを着けて演奏するものでも見るだけのものでもありません。人々が行き交う

ストリートで、何気なく聞こえてくる音を日常楽しむこと、そんな環境を作ることが最上の音楽文化と言えます。

10月のまん延防止法の適用が解けてすぐでしたので、開催するかどうか直前まで悩み、十分な準備ができたとは言えません。しかし、反響は大きく38名の参加者が集まりました。幼稚園の4歳児から高校生までの青少年を中心に80歳のシニアの方もご参加いただき、非常に参加者の方にもご好評をいただきました。2日間のクラブ会員の動員も35名を超え大成功のアクティビティでした。

若者に夢を、町の人々に楽しさを、このような先の見えない時代だからこそ、これからも時代に即し、時代を拓くアクティビティに、我が高松栗林ライオンズクラブは、挑み続けます。



園児と共にさつま芋づくり

5R12Z 観音寺中央ライオンズクラブ

会長 松岡 良隆

子ども達と一緒に、芋苗つるさし・

水掛草抜き・収穫・感謝祭等、さつま芋を育てる過程の体験を通して、食物の育つ様子や喜び、汗をながす苦勞、収穫時には自然の恵みに感謝する気持ちなど、心の育成の一助になればとの思いで、1995年度より、観音寺・三豊市内の幼稚園・保育所を変更しながら「園児と共にさつま芋づくり」を開催し続け26年目を迎えております。今年も、コロナウイルス感染拡大防止の為、2021年6月22日、「さつま芋苗つるさし」子ども達と一緒に開催する事はやむを得ず中止とし、ライオンズクラブ会員により紅はるか苗・安納芋苗 合計・1000本、豊作を願いながら植え付けました。

2021年11月1日、楽しみにしていたイベント「芋ほり」天候もよく豊中幼稚園5歳児3クラス80名・指導者13名に体験してもらえらること出来ホッと致しました。

最近子ども達の大好きな泥んこ遊びや土に触れる機会のも少なくなりつつあり、普段は見られないさつま芋の葉やつる、土の中から出てくるたくさんのつながった芋に目を輝かせ、又、飛び跳ねるカエルやコオロギやバッタなどの虫にも大はしゃぎ、袋に一杯さつま芋をお土産に畑に歓声が広がりました。園や家庭で芋ほりの話をしながら、自分で掘ったさつま芋も料理はきつと一段と美味しく感じる事でしょう。



2021年11月1日 さつま芋掘り



環境保全事業海岸清掃実施

松山北ライオンズクラブ 事務局 小西 たまき

- ・日 時 2021年11月3日(水)文化の日(雨天決行)
- ・場 所 粟井海岸
- ・集 合 10:00集合
- ・作業時間 10:00～11:30(作業時間1時間半)

作業開始時間には全員集合し会員の家族も多く参加して下さり26名で晴天のもと黙々とプラスチックゴミをメインに清掃活動を行いました。

ゴミ袋と火ばさみを各自が持ち汗をかいて約1時間半頑張りました。ゴミ袋約45枚分のごみを回収致しました。

海岸は見違えるほど綺麗になり参加者みなスッキリした表情で作業を終えました。

その後は川本道孝会員のご厚意により美味しいお弁当を全員で頂きました。会員の結束もより一層強くなりました。これからのアクティビティ活動に期待できると思います。もちろん10月28日に入会されたばかりの新会員さんにもご参加頂き親睦を深めました。

2ヶ月毎に実施予定となり継続事



業としていく必要があると環境保全委員長のもと協議事項となりました。クラブ備品の軍手を使用しましたので経費はかかりませんが、松山北ライオンズクラブらしいアクティビティが出来たと思います。

三浦雄三郎：環境保全委員長の感想

海が泣いている。海は命の母である。人間が生きていく上で大事な海を、人間の身勝手に汚している。清掃活動を行うことにより、より切実に感じた。これからも海を大事にしたいと思う。今後、機会あるごとに海岸清掃活動を行いたいと思います。



例会活動について

12月訪問例会

松山北ライオンズクラブ

幹事 吉金 憲司

・とき

2021年12月23日(木)

18:30～

・ところ 松山東急REEホテル

当日はクラブメンバーの大勢が出席しRC・ZC様をお迎え致しました。また、本例会はゲスト2名様参加も頂き楽しい例会となりました。

RC・ZC様のライオンズクラブに対するお気持ち今後のクラブ活動に対する指針を示して頂き勉強になる例会になったと思います。

ありがとうございました。



第47回 みどり寮もちつき奉仕

336-A地区 3R-3Z 宇和島ライオンズクラブ
青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員長

長井 雅開

寒さを増してきた令和3年12月4日に第47回目の「みどり寮餅つき奉仕」が開催されました。昨年は新型コロナウイルスの影響もあり、ライオンズクラブのメンバーは参加できなかったこともあり、私自身も久しぶりに子供たちの笑顔と会えることを心待ちにしておりました。

開催にあたり冒頭に豊田会長のあいさつがあり「生き生きと楽しんでください。活気ある行事として今後も続けていきたい。今日はたくさん餅をつけて元気に正月を迎えてください。」と述べられ目録の贈呈が行われました。それに対して子供達より感謝の言葉を頂き、最後に理事長の曾根氏からも感謝とお礼の言葉を頂きました。

早朝より準備を行っていたようで我々メンバーが到着したころには既に餅つきは始まっておりました。第47回目とあつてか寮生と先生方の手際

はよく、蒸したもち米を威勢よく付き、餡子やさつまいもを包む流れるような動きに変換しました。上級生が下級生を励まし、先生方が子供たちを支える姿を微笑ましく感じると同時にこういった光景のみどり寮の日常の充実ぶりをうかがえることが出来ました。振舞われたつきたての餅は大変美味しく、子供のころに実家で食べた付きたての餅の味を懐かしく思い出した次第です。

近年、ウイルスの付着問題より餅つき行事が減少傾向にありますが、やはり餅つきは日本の文化でもあり伝統です。我々はこの奉仕事業を通じてこれからも日本の古き良き伝統文化を長く伝えていくべきと考えます。

早朝より参加していただいたメンバーの皆様は本当にお疲れ様でした。大盛況として終わることが出来ましたこと、誠にありがとうございました。

来年以降も素晴らしい子供たちの笑顔のために積極的に事業に参加していただきますようお願いいたします。



第17回「語り伝えたい」

美しい日本語暗唱コンテスト

松山つばきライオンズクラブ

青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員会

委員長 **村井 淳子**

継続事業のコンテストも第17回を迎えました。折も折コロナ感染症が終息せず開催の懸念もありましたが、教育委員会は関係各位のご支援で午前と午後の2部構成で10月31日愛媛CATVの5階で開催することが出来ました。このコンテストは地域の大人による文化をつうじた子供育成支援です。暗唱一人の持ち時間4分以内で暗唱し、表現力を競うもので、題材は古典、現代文学、詩、民話など自由です。今回の応募は小学生、中学生、高校生合わせて58名でした。生徒の皆さんはコロナに負けじと例年以上に熱演です。声色や表情をかえたり、中には身ぶり、手ぶりの生徒さんもありました。

会場の人たちも引き込まれ満足感と感動で満ちあふれていて熱気いっぱいです。

長時間審査して下さったアナウンサーや脚本家、教育委員会の方など5名は声のトーンや読むテンポ、表現力など熱心に審査して下さい、口々にすばらしいこの事業はぜひ継続して言葉文化の向上を計って下さいという評価でした。このコンテストを通して教育現場の先生と生徒さんの絆が深まり、言葉文化が向上することを念じています。



献血活動のご報告

松山ホストライオンズ
環境保全・保健福祉・アラート委員長 **芝 英太**

・日 時 2021年11月18日(木)・19日(金)
・場 所 愛媛県赤十字血液センター 大街道出張所

コロナ禍ということもあり献血者数
が心配されましたが、両日あわせて148
名の方に献血のご協力をいただきま
した。

18日は強風のなか、朝一番からたく
さんの方にお越しいただきました。週の
中でも火曜 木曜は献血者が少ないで
すが今日は多いですねと所長 佐々木
稔様からお礼をいただきました。

19日は朝から途切れなくお越しいた
だき、午後からは献血ルーム前にて呼



び込みをしていただき前日を超える献
血者数になりました。

コロナ禍の中で考えながら行動しな
ければなりません。今回のアクティビ
ティだけでなく会員の生活の中に献血
が根付いていくことを願います。



清掃アクティビティ報告

松山ホストライオンズ
環境保全・保健福祉・アラート委員長 **芝 英太**

・日 時 2022年1月10日(月) 10:30 ~ 11:30
・場 所 堀江海水浴場

1月10日に清掃アクティビティをお
こないました。

参加メンバーとご家族で堀江海
水浴場を1時間ほど清掃。ペットボト
ルやプラスチック製のゴミ、タバコの吸い
殻などを拾いあげました。

風はあるものの日差しが強く、体を
うごかすと汗ばむ好天にめぐまれ、新
年のよいスタートになるアクティビティ
となりました。

参加した入会間もないメンバーのご
家族から「ライオンズさんつて、こうい
う活動をされてるんですね。あまり知り
ませんでした。」と活動の意味、意義に
気が付いていただく事もできました。



ありがとう年賀はがき贈呈

松山中央ライオンズクラブ

教育・国際委員長 **大政 大祐**

例年「かもめーる」の時期に実行されるイベントですが、今年は「かもめーる」終了に伴い、今年は年賀はがきの企画となりました。11月25日、小学校6校(762枚)、中学校6校(3,873枚)に委員会メンバーで手分けして贈呈してきました。

本事業は、各小学校・特別支援学校に年賀はがきを寄贈し「親しい人に感謝の気持ちを伝える橋渡しをすることにより児童のコミュニケーション能力を高めて社会に奉仕する」というライオンズクラブの精神に沿った意義のある事業です。ライオンズクラブのモットーは、We Serve(われわれは奉仕する)であり、奉仕こそが我々の使命であります。



ライオンズデー清掃活動

松山中央ライオンズクラブ

市民・公衆委員長 **伊藤 涉**

2021年10月10日(日)午前9時からライオンズデー奉仕活動として、昨年と同様に鴨川公園周辺遍路道の清掃活動を行いました。気持ちのいい天気に恵まれ、鴨川公園に集合しスタートしました。昨年は鴨川公園のトイレ清掃も同時に行っていたのですが、今年には遍路道の清掃のみとなりました。公園の管理者さんからは少し惜しまれていたように感じました。遍路道の見た目はゴミが散乱している様子はなく普通にきれいな道だと感じましたが、よく見ると道路脇にはペットボトル、ゴミ袋等のプラスチックごみが捨てられていました。また、鴨川の川の中には上流から流れてきたのか、多くのプラスチックごみ、さらにはキーボードが捨てられていました。特に多いプラスチックごみですが、やはり捨てられると土に還ることなく、海まで流れついてしまうのだなと感じました。それが海を汚すことになり、さらに流れ着いたプラスチックはマイクロプラスチックとなり、それを魚が食べ、その魚が私たちの

食卓に上り結局は私たち自身の体に返ってきています。この清掃活動がただ、街をきれいにするというだけでなく、海の環境を守り、私たち自身のための活動になっていることを認識しながら次回の清掃活動を行っていきましょうと思います。



第19回「松山中央ライオンズカップ」中学生

女子ソフトボール大会」開催

松山中央ライオンズクラブ

青少年育成委員長 両田 晃

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いていた12月11日(土)、伊予銀行グラウンド・余土中学校グラウンドにおきまして「第19回松山中央ライオンズ杯中中学生女子ソフトボール大会」を無事開催することが出来ました。

当日は12月とは思えない穏やかな天候のもと、過去最多となる9チーム、124名が参加し熱戦を繰り広げました。

早朝よりお手伝いいただきました各会員の皆様のご協力により、スムーズに大会を進捗することが出来ました。

今回初めての試みで「キッチンカー」での豚汁、ジュース、コーヒの提供を行い、伊予銀行ソフト部の選手、参加中学生選手にも大変喜ばれ、真剣勝負のゲームの合間の他校の選手との交流や、伊予銀行ソフト部選手との交流にもつながったのではないかと思います。

当日参加いただきました役員・会員の皆様、青少年育成委員会の皆様、開催に向けて各方面で準備に係っていた

だいたの皆様、すべての方に厚く御礼申し上げます。



松山盲学校へ

フロアバレーボールフルセット寄贈

松山中央ライオンズクラブ

社会福祉委員長 井澤 剛一

2021年12月6日松山盲学校へフロアバレーボールフルセットを寄贈してきました。

寄贈式では佐々木第二副会長の挨拶から始まり、松山盲学校校長先生をはじめ、生徒会長や生徒さんからも感謝の言葉を頂くことができました。中でも、フロアバレーボール部キャプテンの言葉が印象に残っています。

「私は来年卒業です。新型コロナウイルスの影響でここ2年間、試合することができませんでした。この度、フロアバレーボールフルセットを寄贈して頂いた事で、より実践に近い形で練習する事ができます。もう試合はありませんが、卒業までこの環境を楽しみたいと思います。」

彼女の言葉を聞いて、今回のアクトの意義を成すことができたのではないかと思います。

また、寄贈式の後には、生徒さんや先生達と当ライオンズクラブメンバーと

でミニゲーム式の交流会を楽しむこともできました。

大盛況として終わることができたのも、当会の各委員長並びに会員の皆様による、交流会参加メンバー(21人)の募集や報道機関へのオファー、当日の駐車場の誘導・交流会場への誘導などを行って頂いたおかげだと思えます。たくさんのご協力、誠にありがとうございます。

これからも参加型アクトとして継続していけたらなと思います。



活動報告

7R-1Z 室戸ライオンズクラブ

会長 山川 寿彦

室戸阿南海岸国定公園日沖港
近くに室戸LCで1973年(昭和48年)滋賀丸慰霊碑を建立して
から、継続事業として毎年5月に
行い、今年は5月22日慰霊碑周辺
の草刈り、清掃、供養を実施致し
ました。

海岸線清掃について、10月5日
あつたか高知秋のおもてなし一斉
清掃に参加し、室戸市役所職員と
地元の方と力を合わせて室戸ユネ
スコ世界ジオパーク海岸と道の駅
キラメッセ近くの海岸清掃を行
いました。



ひまわりの集い

小豆島ライオンズクラブ

事業第1委員長 坂本 登

10月13日「ひまわりの集い」開催
特別支援学級の児童生徒29名
と先生11名を招待し、オリブの
収穫体験を行った。屋外での活動
なのでのびのびと多くの実をつん
でいた。ハート形の葉を見つれたり、お
弁当を楽しんだ。



子ども達に郷土の偉人を紹介

三木さぬきライオンズクラブ

会 長 **五味 俊一**
奉仕委員長 **安部 正雄**

故郷の魅力や、郷土の歴史、偉人を教えることは、これから故郷を後にして世界に羽ばたこうとする若者に送る応援歌かもしれない。

三木町には、三偉人と言われ、住民が敬愛している大先輩がいます。その中の一人が化石からメタセコイアを発見し、後に中国で自生しているのが見つかったメタセコイア研究の第一人者である三木茂博士です。

博士生誕百二十年を記念して、その功績と足跡を紹介するクリアファイルを作成して、三木中学校の全生徒に贈呈しました。合わせて、博士の業績を長年研究して後世に伝えようと活動されている同校元教頭の鹿庭緑先生の講演をビデオ

収録して校内放送を行いました。贈呈式では、生徒会長が「地に偉人がいてうれしいし、誇りに思う。三木博士の功績を学びたい」と話していました。

同校には樹齢50年を超えるメタセコイアの大木が林立する庭が造られています。(表紙の写真) 春の若葉から紅葉、落葉と四季の移り変わりの中で生徒たちを見守り、巣立った多くの卒業生にとっても思い出深い庭となっています。

三木さぬきライオンズクラブでは、郷土の歴史に関わりの深い史跡の清掃活動も実施しており、これからも次の世代へと引き継ぐ文化や伝統を大切に継承していききたいと考えています。



336-A地区ガバナー地域事業 河川敷、海岸線、ビーチの砂浜清掃

7R11Z 高知鏡川ライオンズクラブ

MC・地区誌編集委員長 久万田 昌弘

10月3日(日)8時〜、9名が参

加して、「鏡川源流憩いの広場」の清掃を行いました。毎年この時期に行っています。広場では4組の家族がキャンプを楽しんでいました。

1年かけて伸び放題の草を手際よく刈りました。1時間程で見違えるほど、すっきりきれいになりました。平成14年に鏡川清流保全のために設置した野立看板前での記念撮影です。これからも美しい鏡川のままで、みんなの癒しの場所でありますことを願っています。



コロナ禍のもとで

高知よさこいライオンズクラブ 会長 山本 宗一

この二年間、コロナの影響で中止となったアクティビティは、高知市中央地区身体障害者大運動会を始めとしていくつかありましたが、高知市桂浜の花海道の清掃を高知市内のライオンズクラブと共同で行いました。予想していた程のゴミの量ではありませんでしたが、かなりの量が集まりました。また、毎年恒例の高知工科大学の留学生との交流事業が二年ぶりに実施されました。今年には坂本龍馬の生まれたまち歩き「土佐っ歩」と城西館の歴史を一緒に勉強させて頂きました。留学生とビンゴゲームで盛り上がり、お土産も喜んで頂き楽しい交流会となりました。



健全な青少年の育成をめざして

7R3Z 高知桂ライオンスクラブ

会長 山村 一正

1 「まんが甲子園大会支援事業」

毎年8月に高知市で開催される「まんが甲子園大会」参加の高校生と大会運営に協力しているボランティアの高校生にバンダナを贈呈しています。

平成10年第10回大会から続き今年で21回めです。バンダナデザインは伊野商業高校キャリアビジネス科デザインコース・CGコースの3年生が授業の一貫として取り組んでくれています。4

月に会長・幹事・青少年委員長が学校を訪問、趣旨説明をし、今期の事業がスタートしました。5月、出来上がった40枚のデザイン画をクラブメンバーと高知県庁の関係者の投票で10点選びました。10人10作品のプレゼンテーションを各々生徒さんにしてもらい、メンバー内で投票、最優秀賞1点が今年のバンダナデザインに決定しました。例年は中心商店街帯屋町のアーケードに全デザインを展示、行きかう方々の投票で2000票集めて選出していますが、今年はコロナウイルス感染防止の為、

アーケード展示は自粛。7月には、最優秀賞の今年のバンダナデザインをマスコミが取材、新聞、TVニュースで流れました。8月の「まんが甲子園大会」は「オンライン開催」となりましたが、70枚作成したバンダナを事前に参加校へ届け、開催当日は選手の皆さんが、頭に巻いたり、手首に巻いたり工夫して身につけてくれました。

デザインを作成した高校生も教室の中の勉強だけでなく、作品が実際の形になり、人前でのプレゼンテーションやマスコミに取り上げられ質疑応答する経験は自信が付き、卒業後の進路選択にも目標が出来、とても励みになると喜ばれています。

この事業は当クラブのメインACTでこれからも長く継続し青少年の育成を目指します。



2 「子ども食堂支援」

10月24日(日)高知市南御座「葛屋書店」のテラスで行われた子ども食堂に支援金を贈呈しました。広々としたテラスに美味しそうな手作りお弁当を、スタッフの方々が手際よく並べていました。日曜日のお昼間という事もあり、この後、沢山の親子連れで賑わっていました。



*高松源平ライオンズクラブ 2021 アクティビティ

献血キャンペーン

環境保全・保健福祉・アラート委員会

委員長 鎌野 実

令和3年9月9日に香川県健康福祉部薬務感染症対策課から、献血運動推進協力団体等厚生労働大臣感謝状と記念品の伝達があった。

感謝状には「貴殿は献血の推進に積極的に協力され多大の貢献をされました。その努力に対し感謝の意を表します。厚生労働大臣 田村憲久」と書かれています。

高松源平ライオンズクラブは、結成以来奉仕活動の柱として献血運動を毎年3〜4回継続して実施しており、それに対する感謝状です。

「本物は続く、続ければ本物になる」という禅僧の言葉を思い出し、今後とも継続しなければと改めて思った。



厚生労働大臣表彰

2021/7/18 献血CP
イオンモール高松にて

*高松源平ライオンズクラブ 2021 アクティビティ

ありがとうはがき

メッセージ

青少年・LCIF・

ライオンズクエスト委員会

委員長 中屋敷 雅也

9月30日「ありがとうはがき」の審査を行った。

最近手紙や葉書きを書く習慣がなくなりつつある中で、どの生徒の作品も大変工夫がされていて感動した。手書き手紙は日本の文化として大切に守っていきたいと思う。はがきをもらった先生方もきっと思い出に残るよい教材になったことであろう。

来年は、コロナもおさまり学校に行つて生徒に会えることを願っている。



2021/7/7 ありがとう葉書き 贈呈式



*3年生の部 *4年生の部 *5年生の部 *6年生の部



2021/12/10
「交通安全キャンペーン」に参加
新田町小山交差点にて



2021/7/5
「シートベルト着用・自転車の安全利用啓発街頭大キャンペーン」に参加

県民総ぐるみ運動

高松源平ライオンズクラブ

MC委員長 武田 多喜男

年末年始交通安全県民運動街頭大キャンペーン 横断幕やキャンペーン用プレート等を使って「交通ルール遵守、交通マナー向上、シートベルト着用」等を道路外から無言でドライバー・自転車利用者に呼びかける。

***高松源平ライオンズクラブ 2021アクティビティ**

ライオンズデー

新川橋清掃

環境保全・保健福祉・

アライト委員会

委員長 **鎌野 実**

安全性も考慮し、朝7時に集合し新川橋の草刈り・清掃を行った。我が高松源平ライオンズクラブの、ライオンズデーに合わせて行う恒例行事となっている。

朝、散歩している人々と挨拶を交わしながら、一汗かくのは気持ちの良いものである。



before →



after



クラブのレガシーを次世代に繋げる奉仕を

阿南ライオンズクラブ

YCE・市民奉仕委員会

委員長 **木本 左起子**

今年も当クラブの継続事業であるアドプト河川清掃とバス停清掃を行いました。河川清掃は2002年に国土交通省那賀川河川事務所とアドプト契約して以来19年間、毎年3回行っています。担当区域は阿南市の中心を流れる一級河川桑野川の下流、浜の浦の河川敷です。誰に捨てられたか草の中のゴミを汗かいて拾い集めあたり一帯

がきれいになるのを見て、この場所と奉仕してくださる仲間が更に好きになつていくのを感じました。

バスの停留所はクラブ結成10周年を記念して寄贈した建物で、当時は富岡西高校前に上下線各1ヶ所、市役所前に1ヶ所、その後橋小学校近くにも1ヶ所追加で4ヶ所建設されました。大切に使用されているようで年3回のクラブの清掃以外にも生徒や先生が箒で掃いている姿を見かけると心から嬉しく思います。50年を経て傷んだ屋根やベンチは今年、会員の協力を得て

一部が修繕されました。思い出に印したのかベンチや壁には学生の名前らしい刻印も見られ長年の愛着を感じられます。

今年からクラブのアクティビティに一般の参加者を広報誌や口コミで募集することにしました。先輩ライオンが残してくれたさつた奉仕の実績にプラスして、奉仕の心が繋がっていくという試みです。奉仕の輪が広がることでクラブの活性化にも繋がれば幸いです。



小豆島両クラブ

合同海岸清掃実施

4 R-1 Z 小豆島

ライオンズクラブ

会長 山下 美香

・日時 2021年10月24日(日)

今年度、蔵本守雄地区ガバナリーの基本計画であります「地区の奉仕活動」の筆頭にあります

クラブ地域の「河川敷、海岸線、

ビーチの砂浜清掃活動」を10

月24日に小豆島東LCと合同

で行いました。実施場所は、小

豆島の中心に位置するオリーブ

公園の砂浜で、全長300mあり、両

クラブメンバー25名が空き缶、ビ

ニール、発泡スチロール、木クズ等

を14kgあまり収集いたしました

た。収集内容も特にビニール、発

泡スチロール類が多くて、つくづく

と環境が害されていると感じま

した。

今回の合同作業を行う事で、

地域の人達にも十分にライオン

ズクラブの活動内容をアピールす

ることも出来て大変良かったと

思っています。



プラゴミ撲滅キャン

ペーン砂浜清掃

4 R-1 Z 小豆島東

ライオンズクラブ

会長 照下 あけみ

小豆島東LCと小豆島東LC合同で

行いました。

小豆島東LCは15名参加しました。

この日は海岸はゴミが少なくなっても

綺麗でした。

2Z合同庵治半島

海岸清掃

4 R-2 Z 高松源平

ライオンズクラブ

会長 木村 弘

・日時 2022年1月23日(日)

2022年1月23日(日)午前9

時から2Z合同庵治半島海岸清掃を

行いました。

鎌野海岸を高松東LC・八栗LC、

高尻海岸を高松西LC・高松源平LC

が担当し、小雨が降る寒い中ではあ

りましたが、あわせて40余名の参加者

とともに海岸清掃ができました

庵治海岸清掃

4 R-2 Z 高松西

ライオンズクラブ

会長 中村 美豊子

・日時 2022年1月23日(日)

4 R-2 Z

合同アクティ

ティで、庵治海

岸の清掃を行

いました。わが

クラブは、高松

源平ライオンズ

クラブと一緒に

清掃しました



庵治半島

グリーンアップ活動

4 R-2 Z 八栗

ライオンズクラブ

会長 飯間 裕二

・日時 2022年1月23日(日)

庵治半島グリーンアップ活動として、4

R-2 Z内各ライオンズクラブの会員が

合同で、高松市庵治町鎌野自治会と高

尻自治会の住民と漁業関係者と一緒に

庵治半島の海岸清掃を行いました。

2Z合同海岸清掃

4 R-2 Z 高松東

ライオンズクラブ

会長 細井 高志

・日時 2022年1月23日(日)

2Z合同で行われた庵治海岸清掃

に参加した。

に12名が





河川・公園等清掃活動

4 R-3 Z 三木さぬきライオンズクラブ

会長 五味 俊一

三木さぬきライオンズクラブの地域奉仕活動は、年1回の独自活動と通年的に取り組み協賛活動となつています。

海に面していない三木町では、町内の主要道路や河川・公園等の清掃活動となりますが、会員からの提案があれば、地域に埋もれている文化施設等も、その対象としてきました。また、毎年3月の第1日曜日に町内一斉の河川清掃活動を行っています。地域奉仕活動としては位置付けておりません。地区奉仕活動は「小さなことからコツコツと」を合言葉として、無理なく・明るく・楽しく取り組むことを目標としています。なお、本年度の活動は以下のとおりです。

① 独自活動

毎年このこととなりますが、活動場所の設定や日程調整に苦勞しながら、本年度は年明け早々の1月7日(金)に町有施設である自然公園「太古の森」の清掃活動を実施しました。平日となったため、参加者は五味会長を含めた会員10名に止まりましたが、公園利用者4名の方にもご協力をいただき、約2時間で遊歩道や水路の清掃を行いました。道路や河川清掃

の場合、ライオンズ単独の奉仕活動にならないを得ませんが、利用者と呼び掛けるスタイルが良かったとする総括もあり、次年度以降も継続・発展させるべきとされたところです。なお、来年度は、年末年始の活動に加え、共催事業である「太古の森・恐竜クロスコントリー」前段での清掃活動を予定することとしました。

② 協賛活動

会員有志の参加事業として、三木町勤労者協議会が取り組む県道の草刈やゴミ拾い、老健施設での「彼岸花」管理活動を協賛事業として取り組んでいます。

本年度は、香川県が主催する「さわやかロード」活動組織に登録された県道約500mの路肩草刈やゴミ拾いを年4回(①6/6・②8/8・③10/17・④12/19)実施するとともに、「みき山荘」に植え付けた約2万株の「彼岸花」管理のための草刈を施設管理者と調整しつつ年3回(①6/6・②8/22・③10/23)取り組みました。

来年度も、三木町勤労者協議会が設定する日程での協賛事業を進めてまいります。

白方海岸清掃

4 R-3 Z

長尾ライオンズクラブ

会長 六車 誠司

・日時 2021年11月27日(土)
11月27日(土曜日) 9:00

白方海岸にて清掃活動を行います。この活動はガバナの方針「河川敷、海岸線、ビーチの砂浜清掃活動」に基づいた活動です。

今回、志度ライオンズクラブ様と共に行いました。この白方海岸清掃は、見た目にはゴミなどは目立ちませんが、見た目が、いざ清掃活動を始めると沢山のゴミを回収する事が出来ました。



海岸清掃について

4 R-3 Z

志度ライオンズクラブ

会長 大村 一彦

・日時 2021年11月27日(土)
さぬき市鴨庄白方海岸において、地元鴨庄漁港及び白方自治会の皆様と、長尾LC(5名)、志度LC(会員9名、クラブ協力者10名)の会員により海岸清掃を行った。

当日は、風が強く、寒い中ではあったが、総勢65名での取り組みで大きな成果を上げた。



4Z 合同清掃

4R・4Z 高松空港

ライオンズクラブ

会長 萩原 渉

・日時 2021年11月28日(日)

サンポート高松周辺の清掃アクティビティ。

今期ガバナー重点項目であるプラスチック、ゴミ回収を行いました。



庵治鎌野海ゴミ清掃とサンポート周辺4Z合同清掃

環境保全・保健福祉・

LCIF・IT推進委員長

平山 万起子

・日時 2021年11月21日(日)

11月21日(日)、寒さと天候が心配される中でしたが、第一回海ゴミ清掃活動を実施することが出来ました。活動場所の庵治鎌野海岸は、当日は心配していた寒さも風もなく、多数のメンバーの皆さんに参加頂きました。NPO法人アークペラゴの森田さんから、海ゴミ清掃活動の注意点を説明頂いてから清掃活動スタート。清掃した海岸は、清掃活動が多く実施されているとのことでしたが、発泡スチロールのトレイやタバコの吸い殻、森田さんから説明を受けるまで知らなかった、カキの養殖に使われている小さなプラスチックの輪が落ちていました。清掃活動が終わってから、森田さんからミニ海ゴミ講座があり、人工芝の小さな破片や、肥料の小さなプラスチック片も、用水路等から流れ海ゴミとして漂着することを知りました。

8:20 ホテルパールガーデン集合 (ワゴン車乗り合わせ)

9:00 庵治鎌野海岸集合・受付

9:15 挨拶・注意事項説明

9:30 清掃開始

10:30 清掃終了、記念撮影

10:45 ミニ海ゴミ講座、振り返り

11:00 挨拶・解散



幹事 那須 雅人

・日時 2021年11月28日(日)

11月28日(日)サンポート高松西側芝生広場周辺にて4Z合同清掃が実施されました。

朝8時開始の早朝よりの実施でしたが各クラブ5〜10名、総勢40名ほどで我が高松栗林ライオンズクラブからはL尾崎、L佐久間、L白石、L中山、L那須、L馬場、L松野の7名が参加しました。1時間程度でしたが、ゴミ袋 20袋ほど回収できました。

パット見はゴミも目立ちませんが目がなれてくるとタバコの吸殻ティッシュなどが多くめだちました。中には靴を脱ぎ捨てたのもありました。冬型の気温になり最初は大変寒かったです。回収後半には汗をかく健康にもよいのでは？ 次回は多くのご参加をお待ち致します。

清掃奉仕活動

4R・4Z 高松北

ライオンズクラブ

会長 小西 康裕

・日時 2021年11月28日(日)

336・A地区4R・4Z合同により、サンポート高松周辺で清掃奉仕を行い、広場や遊歩道などのごみを拾い集めました。

高松玉藻、高松栗林、高松屋島、高松紫雲、高松空港、高松北の各クラブから計約40人が参加して火箸とごみ袋を手に空き缶やたばこの吸い殻などを丁寧に拾った結果、約1時間の活動で20袋分のごみが集まりました。



思い出のランドセルギフト

336-A地区2R-2Z

今治くるしまライオンズクラブ

青少年健全育成委員会 委員長

檜垣 正浩

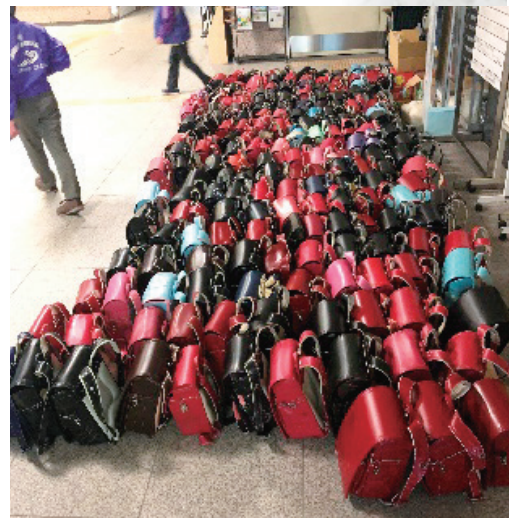
使わなくなったランドセル。思い出が詰まったランドセル。そんなランドセルを、発展途上国の子供達に送り、海外の子供たちの未来を育てる！

毎年、教育委員会、PTA連合会に後援していただき、チラシを作り、市の広報などで皆さんに連絡し、ランドセルや文房具を寄付していただきました。なんと205個も集まりました。

母親のランドセルも残っていて、子供の分も含めて2世代で持って来ていただいた人もいました。皆さんに寄付いただいたランドセルは、海外でしっかり役にたつことができるでしょう。



持って来てもらったランドセルを受け取る



いっぱいランドセルが集まった



この後、箱詰めして輸送の準備
想定以上の量が集まりました。



この会場でヘッドネーションの説明
別のアクティビティにつなぐ!



ノート等の文房具も受け取る

10月17日桂浜花海道、砂浜清掃活動

高知南ライオンズクラブ 幹事 上島 眞美

・日時 2021年10月17日(日)

当日、雨は降らないが、すっきりしない曇り空の中、海の色もどんよりして見えます。

消波ブロックの隙間から、ペットボトルを引つ張り出し、崩れた発泡スチロール、お菓子の袋ゴミなどを入れると、すぐに袋は溢れました。

この海に人間の生活から出たゴミがどれほど膨大な量漂っていて、海洋生物の命を危険に晒しているのかと思うと胸が痛みます。

私達はクラブ活動として、国道の一斉清掃を行い、ゴミが海にたどり着くことを阻止していますが、ゴミが発生することを止めることはなお重要な課題です。

ポイ捨てしないことはもちろんですが、道路脇の集積場所に出されたはずのゴミ袋が風に飛ばされ、道路に散乱している光景を見たとき、汚いなあと顔を顰めるだけなのか、ゴミ出しの方



法を工夫しようと気付く人か、こんな天候の日はゴミを出すのはやめようという判断をする人か。直接的な清掃などに参加するだけでなく、環境意識の向上に関する活動にも貢献していくライオンズでありたいと思います。

砂浜清掃

高知鷹城ライオンズクラブ MC委員長 福島 明

・日時 2021年10月17日(日)

10月17日(日)桂浜花海道沿いの砂浜清掃を行いました。これは今期キャビネットの基本事業で、336・A地区のそれぞれのクラブが海岸線やビーチの砂浜や河原の清掃に取り組みというものです。この日、7Rの市内8クラブが一斉に桂浜花海道沿いを清掃しました。当クラブでは、西森会長、海老塚幹事をはじめL田中智洋、L細川、L井上光啓、L田中良岳の6名とL田中良岳の娘さんとそのお友達とクラブ事務局も参加し、計9名で砂浜のごみを拾いました。

まず、朝6時半に種崎千松公園駐車場に集合、西森会長とL田中智洋の2台の車に分乗して清掃場所に向かいました。砂浜には流木やビニール、プラスチックごみが散乱していましたが、今回はビニール、プラスチックを中心に拾いました。ビ



ニールやプラスチックは日光や風雨にさらされて、拾い上げようとしてもポロポロと崩れ落ちてしまいます。この崩れたものがマイクロプラスチックになるのかと感じました。

清掃後は種崎千松公園で休憩。海老塚幹事がお湯を沸かし、西森会長が淹れてくれたコーヒースは格別で、静かな海を見ながらしばし時の流れを忘れ、ゆつたりとした時間を過ごすことができました。

今回この清掃を通して、マイクロプラスチックの環境問題がとても身近な問題であるということに気付くことができました。

お詫び

・前号にてクラブ名の記載がありませんでしたので、再掲載してお詫び申し上げます。
・No.3号の編集方針として各クラブの活動を少しでも多くご紹介することとし、会員状況は掲載しておりませんのでご了承下さい。



物故会員

①氏名・享年 ②LC名 ③没年月日 令和4年3月31日現在で、ご確認できる方を掲載しています。※報告書に準じています。

慎んでお悔やみ申し上げます



①橋本 敏行(76歳)
②4R-4Z高松北
③2021年12月2日



①山地 帝吉(83歳)
②4R-4Z高松屋島
③2022年1月8日



①妹尾 光章(98歳)
②2R-1Z新居浜
③2022年1月22日



①岡原 雄二(73歳)
②5R-2Z三豊
③2022年1月26日



①大道 晋(66歳)
②8R-1Z徳島
③2022年1月28日



①菊池 仙一(100歳)
②3R-2Z八幡浜みなと
③2022年2月9日



①澤良 木陽(85歳)
②6R-3Z土佐清水
③2022年2月18日



①中川 英雄(84歳)
②8R-1Z阿南
③2022年2月23日



①横井 潔(80歳)
②4R-4Z高松栗林
③2022年2月23日



①岡本 俊政(68歳)
②2R-2Z今治くるしま
③2022年2月23日



①長谷川 末子(74歳)
②7R-3Z高知桂
③2022年2月28日



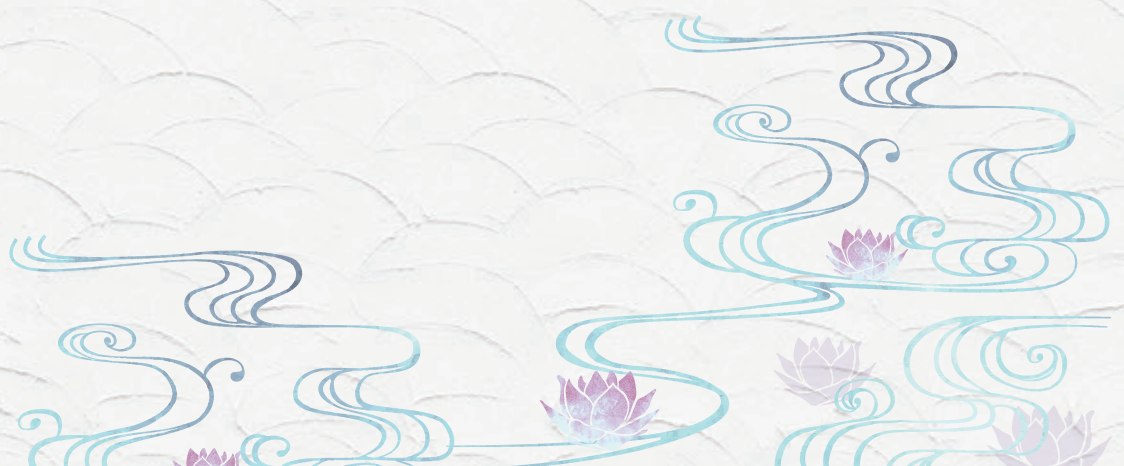
①古田 條舒(78歳)
②3R-1Z内子
③2022年3月4日



①宮本 良一(79歳)
②8R-1Z徳島
③2022年3月11日



①吉見 弘晏(83歳)
②3R-2Z八幡浜
③2022年3月16日



第69回地区年次大会開催のご案内



ライオンズクラブ国際協会336-A地区 **第69回地区年次大会 徳島大会**

日時／2023年4月22日(土)・23日(日)

会場／吉野川市民プラザ

ガバナースローガン：感謝を込めてウィサーブ

ガバナーキーワード：不易流行



2021～2022年
ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 高松キャビネット事務局

We Serve

〒761-0104 香川県高松市高松町 2412-10
カーザ・シェイロ・ジアムール 1-D
TEL 087-802-9192 FAX 087-802-9195
E-mail:takamatsu2021@lci336a.org

第117号 No.3 ・発行日/令和4年5月1日・発行所/336-A地区高松キャビネット・発行人/安戸照清
・企画編集/MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会・印刷/(株)プリンツエーディー